

図書館サイエンス夜話とは？

サイエンスカフェとはもともと科学者や技術者と市民が科学の話をするカフェのこと。1998年にイギリスで始まったとされています。現在では、特に飲食をする場でなくとも、語り手と聞き手が打ち解けた雰囲気の中で科学について語る場をサイエンスカフェといっています。

「図書館サイエンス夜話」は鶴舞中央図書館があいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの協力を得て開催するサイエンスカフェです。あいちサイエンスフェスティバルの期間中、二夜にわたり開催いたします。皆様ふるってご参加ください。



名古屋市鶴舞中央図書館

名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
電話:052(741)9822

古紙パルプを含む再生紙を使用しています

第二夜

図書館サイエンス夜話 ブックリスト②



令和3年11月17日(水)
「2030年の自動車像を予測する
～電気自動車の世界市場展開と新材料半
導体～」

名古屋大学 未来材料・システム研究所
教授 山本 真義氏

あいちサイエンスフェスティバル@つるま

第二夜のブックリスト

★先生の著書★

パワーエレクトロニクス回路における
小型・高効率設計法 山本真義著
科学情報出版株式会社 2014年

★先生が子どものころに

読まれた本★

ロウソクの科学
ファラデー著 岩波書店 1956年

ノーベル化学賞を受賞された吉野彰氏も子どもの頃に読んだことでも話題になりました。1本のロウソクを通して科学のおもしろさを伝える永遠の名著。

・松谷みよ子著作
『龍の子太郎』
『私のアンネ=フランク 直樹とゆう子の物語』
・江戸川乱歩著作
『蜘蛛男』、『黒蜥蜴』
・宮沢賢治著作
『注文の多い料理店』
『銀河鉄道の夜』

文学にも親しまれていて、先生の幅広い読書遍歴がうかがえます。

★電気自動車 関連書籍★

EVと自動運転 クルマをどう変えるか 鶴原吉郎著 岩波新書 2018年

電動化、自動化、コネクテッド化に向け、また脱炭素も視野に入れながら世界中の自動車メーカーが覇権争いを行っている現在。すべての車はEV化するのか、自動運転技術はどこまで進化するのか、将来の展望を探ります。

電気自動車 これからの「クルマ」を支えるしくみと技術 森本雅之著 森北出版株式会社 2017年

1830年代、すでに電池搭載の馬なし馬車が作られていた！電気自動車の歴史から電気とモーターで動く車両全般についても解説しています。幅広い視点で電気自動車について解説しているのが本書の魅力です。

電気自動車メカニズムの基礎知識
飯塚昭三著 日刊工業新聞社 2019年

電気自動車の種類や自動車用電池、モーター、充電システムなど、見開き2頁、図版いりて解説。さくっとわかりたい人におすすめです。

よくわかる最新半導体の基本と仕組み
西久保靖彦著 秀和システム
2021年

今やその言葉を聞かない日はないくらい、私たちの暮らしに浸透している「半導体」。そもそも半導体とは何なのか、その仕組みから将来への展望まで図版多数で紹介しています。

次世代リチウムイオン電池 全固体電池の入門書 金村聖志著 科学情報出版株式会社 2020年

リチウムイオン電池より安全性が高いと言われる全固体電池。その特徴から作成方法までを簡潔に解説しています。

★意外とわかりやすい

子どもの本★

電気はどこで生まれるの

そもそもなぜをサイエンス6

小野洋著 大橋慶子絵 大月書店
2017年

電気自動車2 エコカーのしくみ見学

小野洋著 大橋慶子絵 大月書店

配架場所や予約の方法など、わからないことがありましたら職員におたずねください。